

【布佐中学校区の在り方検討委員会 資料】検討視点と施設形態のメリットデメリットについて

〈児童生徒〉

視点	項目	① 3校とも施設規模を適正化し現在地で建て替え	② 隣接する布佐小と布佐中を一体型小中一貫校とし、布佐南小は施設規模を適正化し現在地で建て替え	③ 3校を一体型小中一貫校へ
児童生徒	1 学習環境	○小学校においては少人数でのゆとりある環境で学ぶことができる。 ○個別最適な学びに向けた、きめ細かな指導がしやすい。 ▲小学校においては少人数のため、学習内容によっては十分な学習活動が行えない場合がある。 ▲各学校において、教員の少なさから、学習活動が制限される場合がある。 ▲学級間の相互啓発や切磋琢磨がしにくい。	○小学校においては少人数でのゆとりある環境で学ぶことができる。 ○9年間の見通しをもった学習がしやすくなる。 ○小学校段階から教科担任制による専門性の高い学習をすることができる。 ▲小学校においては少人数のため、学習の内容によっては十分な学習活動が行えない場合がある。 ▲布佐布佐南小学校においては、教員の少なさから、学習活動が制限される場合がある。	○9年間の見通しをもった学習しやすくなる。 ○小学校段階から教科担任制による専門性の高い学習をすることができる。 ○小学校段階の児童数が増え、学び合ったり競い合ったりする環境になり、学力の向上につながる。 ○4-3-2制などの特色ある教育課程を組めるようになる。 ▲校庭や体育館、特別教室の共用に調整が必要になる。
児童生徒	2 学習内容	○布佐地区の中でもより住環境に最適な地域学習ができる。 ○小学校区・中学校区の範囲が変わらず、従来の環境の中で地域学習ができる。 ▲人数の関係から、学習内容が限定されてしまう場合がある。 ▲中学校段階で、「地域」理解に差があるため、共通の土台をもって学習することが難しい。	○9年間をとおした異学年交流・合同学習が行いやすくなる。 ○小学校区・中学校区の範囲が変わらず、従来の環境の中で地域学習ができる。 ▲中学校段階で、「地域」理解に差があるため、共通の土台をもって学習することが難しい。	○9年間をとおした異学年交流・合同学習が行いやすくなる。 ○小学校段階において多様な児童の考えの交流から学びが深まり、学習内容が充実する。 ○地域について学習するときに、多様な環境の内容を持ち寄って比較検討することができる。学びが深まる。 ○中学校段階で、「地域」理解に差がなく、共通の土台をもって学習することができる。
児童生徒	3 生活環境	○少人数のためゆとりある学校生活を送ることができる。 ○異学年交流がしやすい。 ▲清掃分担や、委員会活動など、余裕のない人数の中で実施しなければならない。 ▲部活動数が少ない。	○清掃分担や委員会活動など、9年間をとおした分担や縦割り活動ができる。 ○9年間をとおした生活ルールの中で生活を送ることができ、中学校進学段階でのギャップが少ない。 ○▲布佐南小学校にとっては、新鮮な生活環境で中学校生活をスタートできるが、中学校進学時に生活のルールなどへの適応に課題が出る場合がある。	○小学校段階においては、より多様な仲間と生活を送ることにより、一層の生活の充実を図ることができる。 ○清掃分担や委員会活動など、9年間をとおした分担や縦割り活動ができる。 ○9年間をとおした生活ルールの中で生活を送ることができ、中学校進学段階でのギャップが少ない。 ○部活動数を増やせる。 ▲中学校進学時の環境変化による、気持ちの切り替えや新生活への期待感が薄れる可能性がある。 ▲9年間同一施設での生活から、高校進学にあたっての新生活への適応に課題が出る場合がある。
児童生徒	4 人間関係	○小学校においては、登下校のグループや放課後に過ごす友達を作りやすい。 ○中学校進学時に新しい友達との出会いがあり、新しい人間関係を築くことができる。 ▲小学校においては単学級であるため、クラス替えができず、人間関係でつまづいたときの逃げ場がない。	○小学校と中学校の縦の関わりが持てる。 ○中学校進学時に新しい友達との出会いがあり、新しい人間関係を築くことができる。 ▲布佐南小学校から布佐中学校へ進学した場合、布佐小学校布佐中学校の縦の関係のときあがった中に入ることになる。	○小学校段階においては、人数が増えるので、たくさんの友達が作れる。 ○クラス替えにより人間関係を更新できる。 ○小学校と中学校の縦の関わりが持てる。 ○9年間の関わりの中で、安心できる関係を築くことができる。 ▲人間関係の固定化が長く続くことによる弊害が生じる可能性がある。
児童生徒	5 学校行事	○各学校の実態に応じて、柔軟に設定することができる。 ○緊急時に混雑しにくい。 ▲小学校においては、少人数での実施となり、行事によっては、充実に乏しくなる場合もある。 ▲中学校区合同で行事を行う場合は、日程調整や教育課程の編成上、多くを行うことは難しい。	○小中学校合同で行事を開催することが容易になる。 ○9年間のうち、実施学年の区切りを工夫した行事を行うことも実現しやすくなる。 ▲小学校段階においては、少人数での実施となり、行事によっては、充実に乏しくなる場合もある。 ▲中学校区合同で行事を行う場合は、日程調整や教育課程の編成上、多くを行うことは難しい。	○在籍児童数が増えることにより、小学校段階においても、小中学校合同で実施する場合にも、これまでより大きな規模で行事を行いやすくなる。 ○小中学校合同で行事を開催することが容易になる。 ○9年間のうち、実施学年の区切りを工夫した行事を行うことも実現しやすくなる。

【布佐中学校区の在り方検討委員会 資料】検討視点と施設形態のメリットデメリットについて  
 <児童生徒>

視点	項目	① 3校とも施設規模を適正化し現在地で建て替え	② 隣接する布佐小と布佐中を一体型小中一貫校とし、布佐南小は施設規模を適正化し現在地で建て替え	③ 3校を一体型小中一貫校へ
児童生徒	6 通学距離	○小学校段階においては、通学距離が均等化されている。	○小学校段階においては、通学距離が均等化されている。	▲小学校段階においては、通学距離が長くなり登下校に負担がかかる場合がある。 (例：南小学区では南新木2丁目端から、南小まで1.8km→布佐小まで2.9kmになる) ▲小学校段階においては、放課後の交友関係が居住地区の友人に限られてしまう。
児童生徒	7 通学手段	○小学校は従来通りの徒歩での通学が主となる。	○従来通りの徒歩での通学が主となる。	▲小学校段階の布佐南小学区在住児童については、検討が必要。 ・スクールバスの場合 下校時間の制約・バス発着場の確保 ・自転車利用の場合 利用可能とする学年の検討
児童生徒	8 交通安全	○小学校が確認・対応する危険エリアは従来通りである。	○小学校が確認・対応する危険エリアは従来通りである。	○登下校の見守りについて、布佐地域全体で連携して行うことができる。 ○小学校段階から、布佐地域全体の危険エリアの確認・共有ができる。 ▲児童の行動範囲拡大に伴って危険が増大する恐れがある。
児童生徒	9 地域理解	○小学校段階においては、小学校区及び児童の居住地を中心とした範囲において、理解を進める。 ▲布佐中学校区全体を「私たちの地域」として認識し、地域学習や地域交流を行うことが難しい。	○小学校段階においては、小学校区及び児童の居住地を中心とした範囲において、理解を進める。 ▲布佐中学校区全体を「私たちの地域」として認識し、地域学習や地域交流を行うことが難しい。	○布佐中学校区全体を「私たちの地域」として認識し、地域学習や地域交流を行うことができる。 ▲児童の発達段階を考慮し、地域理解の範囲を広げていく必要がある。
児童生徒	10 地域の一員としての自覚の醸成	▲地域の範囲が、各学区や自身の生活範囲にとどまりやすく、中学校に進学しても、布佐地域全体を地域ととらえての所属意識が醸成しにくい。	▲地域の範囲が、各学区や自身の生活範囲にとどまりやすく、中学校に進学しても、布佐地域全体を地域ととらえての所属意識が醸成しにくい。	○自身の生活範囲から離れた布佐地域や地域行事にも小学校段階から参加することで、布佐地域全体の一員としての自覚を醸成しやすくなる。 ▲地域の捉え方が大きくなり、自分事として捉えにくい(自分の住んでいる所からは遠い場所の話だと思ふ)場面が出てくることもあるかもしれない。
児童生徒				
児童生徒				

※ 5 学校行事：入学式、卒業式、運動会等、8 交通安全：通学路を含む  
 ※ メリット：○、デメリット：▲とする

# 布佐中学校区 小中一貫教育グランドデザイン

「我孫子市の小中一貫教育」

我孫子市の未来を拓く 心輝く教育～9年間の連続した学びと小中の協働を通して～

・・・コミュニケーション力・チャレンジ力・豊かな心・・・

生きる力の育成  
主体的・対話的  
で深い学び  
社会に開かれ  
た教育課程

《我孫子市小中一貫教育校が目指す子ども像》

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども(郷土愛)
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども(未来を拓く力)
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども(輝く心)

布佐中学校  
自ら学び、共によりよ  
く生きる生徒の育成

布佐小学校  
心豊かにたくましく生  
きる児童の育成

布佐南小学校  
心豊かで  
実践力のある子

《布佐中区小中一貫教育校がめざす15歳の理想の生徒像》

I. よりよい生活・学習のあり方を求め、自ら考え、的確に判断しながら主体的に行動(表現)できる生徒

II. 互いの価値観を認め、仲間と学び合い支え合いながら、(自分ではない)誰かのために貢献できる生徒

<後期>理想の生徒像(15歳の姿)に向けて、さらなる学習と生活の充実・発展を図るとともに、将来への目標や進路実現に向けた能力の伸長に努める。

<中期>目標の実現に向かう自主的な生活態度を育成し、「学びの充実」と「心づくりの充実」を通して意欲の向上と個性や共生的な態度の伸長に努める。

<初期・前期>きめ細かな指導、繰り返しの指導により「学びの基礎」と「心づくりの基礎」を確実に身につけさせる。

環境でつなぐ

- <後期>
  - ・自学自習の態度育成
  - ・自己実現
- <中期>
  - ・自己の目標づくり
  - ・教育相談の充実
- <初期・前期>
  - ・基本的学習習慣の確立
  - ・基本的生活習慣の確立
  - ・家庭学習の習慣化

学習でつなぐ

- <後期>
  - ・活動と協同のある授業推進
  - ・キャリア教育の充実
  - ・地域貢献活動の充実
  - ・生涯学習の基礎づくり
- <中期>
  - ・学び方の理解と意欲の高揚
  - ・「学び合い」学習の推進
- <初期・前期>
  - ・道德教育の充実
  - ・課題解決力の育成
- <基礎基本の定着

人でつなぐ

- <後期>
  - ・コミュニケーション能力の向上
  - ・リーダー性の発揮
- <中期>
  - ・自主的、自律的な態度の育成
- <小中連携活動
- <初期・前期>
  - ・社会性の育成
  - ・幼保小の連携

小中の接続と教科等横断的な視点からの実践

生活・学習指導もおける布佐  
スタンダードの確立  
Abi-ICT、Basic  
書く・話す・聞く力

・小中学校を通した「主体的・対話的  
で深い学び」の授業  
・「ふさカリキュラム」を柱とする小  
中一貫した総合学習  
・主体性を育てる発達段階に応じ  
た話し合い活動の推進  
Abi-ふるさと、Abi-キャリア  
Abi-道德、Abi-English

6年生の中学校登校等、小  
小・小中連携

【児童生徒の実態】  
・学習意欲はあるが、学習時間  
が短い  
・思考し表現する力に課題があ  
る  
・仲間を大切にする  
・地域の行事に参加し、地域の  
役に立ちたいという思いがある

- \* 後期: 中1～3
- \* 中期: 小5～6
- \* 前期: 小3～4
- \* 初期: 小1～2

【保護者・地域の願い】

歴史とともに歩むまち・布佐

～ふるさと布佐を心に刻み、その歴史と文化を語り伝える人材を育てる～

「地域とともにある学校をめざし、学校・家庭・地域総ぐるみで布佐の子どもたちを育てる」

我孫子市教育委員会

地域連携・地域の教育力

布佐中区・各校地域学校協働活動本部

布佐中区・各校学校運営協議会

小中一貫  
教育の推進

3校  
運営委員会  
・校長・教頭  
・教務

プロジェクト部会  
各校教務  
担当校長  
教頭

特別活動部会

研修部会

生徒指導部会

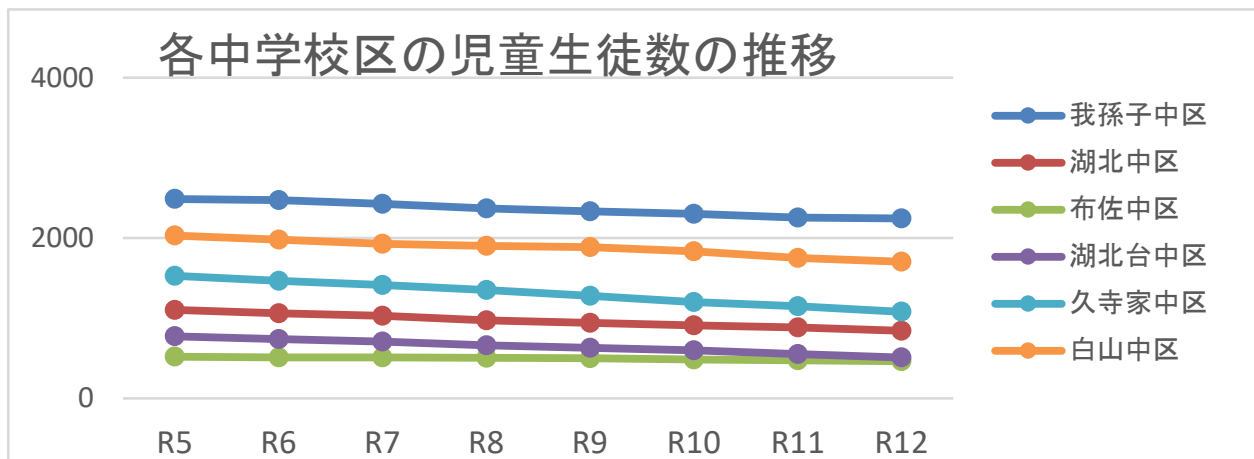
合同職員研修

特別支援教育  
部会  
・確かな学力  
・個のニーズに  
応じた支援

【推計資料】

◆令和5年度～令和12年度 各中学校区の児童生徒数の推移

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
我孫子中区	2487	2475	2429	2368	2335	2300	2255	2245
湖北中区	1104	1061	1030	973	942	910	886	844
布佐中区	520	514	510	505	500	487	475	464
湖北台中区	774	739	708	664	629	599	554	510
久寺家中区	1529	1468	1413	1352	1281	1200	1152	1080
白山中区	2031	1980	1928	1904	1886	1837	1752	1705
市内合計	8445	8237	8018	7766	7573	7333	7074	6848



◆令和5年度～令和12年度 布佐中学校区の推移

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
布佐小	173	168	168	158	158	151	158	148
布佐南小	153	165	171	179	184	180	181	164
布佐中	194	181	171	168	158	156	136	152
布佐中区合計	520	514	510	505	500	487	475	464

